

平塚駅周辺地区将来構想



2026年2月16日(月)

都市整備課 駅周辺地区整備担当

平塚駅周辺地区将来構想

● 計画策定 平塚駅周辺地区将来構想

- ◆ 平塚駅周辺地区の20年後の将来像をまとめ、持続可能なまちづくりを進めるために策定
- ◆ まちの将来像（=理想像、あるべき姿）を「行政」・「市民」・「事業者」が共有
- ◆ 多様な主体で共通のゴールを共有することで、公民が連携したまちづくりを推進
- ◆ 令和4年度から3か年で検討を進め令和7年3月に策定

■ 中央図書館



■ ららぽーと湘南ひらつか



■ ラスカ平塚



平塚駅周辺地区将来構想



平塚駅周辺地区将来構想

第2章 まちづくりのコンセプト

2. まちづくりのコンセプト

平塚駅周辺地区をみんなのリビングに

～充実した日々の中にときめきを感じられる
それぞれが居心地の良いまちづくり～

住む人、働く人、遊びに来る人、事業を始める人など、誰もがそれぞれのお気に入りの空間や体験を見つけることができるように、平塚駅周辺地区を家の中で家族が集まり、くつろぎ、様々な目的に合わせて過ごす「リビング」に見立てます。

平塚駅周辺地区では、市民、事業者、行政が連携して多様な活動、交流が展開される空間や仕組みを地域資源や多様な人材、新技術などを活用して創出することで、様々な人が快適に安心して過ごし、充実した日々の中にときめきを感じられる居心地の良い「リビング」のようなまちを目指していきます。

平塚駅周辺地区での過ごし方

『くつろぐ』



コーヒーをテイクアウトしてベンチで休憩

『遊ぶ』



チャレンジショップでクラフト体験

『集まる』



商店街のイベントに参加

『食べる』



マルシェで食事

『働く』



託児所付のコワーキングスペースでリモートワーク

平塚駅周辺地区将来構想

まちづくりの方針

◆ 将来像を描くために必要となるまちづくりの考え方を7つの方針に整理

方針1 地域資源・商店街の特色を活かしたまちの魅力づくり

■ 湘南ひらつか七夕まつりや東海道の宿場まち、通りごとの様々な特色を活かしたまちづくりの推進

方針2 交流・にぎわいを創出するウォーカブルネットワーク

■ 広場や公園、公開空地等を活用した交流・賑わいができる空間の配置 ■ 建物の低層部のオープン化(ガラス張り化等)の推進

方針3 多様な活動を支える機能誘導と配置

■ 買い物に加え、働く、会合、レジャー、通院など様々な目的に対応できる機能の誘導

方針4 市街地の更新

■ まとまった建物の共同建替えによる市街地の更新 ■ 平塚駅西口等の再開発による市街地の更新のけん引

方針5 グリーンインフラの活用による快適性・防災性の確保

■ 道路や公園、公開空地等の緑化によるみどりのネットワークの形成 ■ 植栽による雨水の浸透する機能の確保

方針6 移動しやすい環境づくり

■ 各駅前広場のバス、タクシー、自家用車等の交通の機能分担 ■ 小型のバスや電動キックボード等の地区内の交通の充実

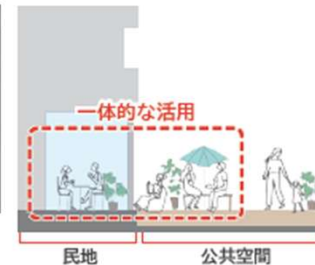
方針7 スマートシティと平塚発の新技术の活用

■ デジタルサイネージによる店舗情報の発信 ■ 交通機関の運行情報と合わせた安全な通行経路の情報提供

道路の活用例



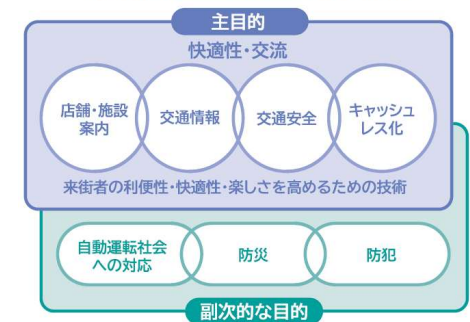
官民空間の一体的な活用例



平塚駅周辺地区で期待するグリーンインフラの効果



平塚駅周辺地区で進めるスマートシティの目的



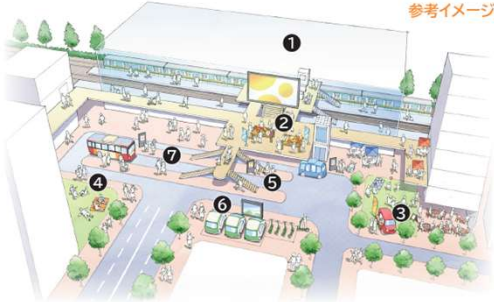
平塚駅周辺地区将来構想

各通り、エリアの将来イメージ

■北口駅前広場

様々な公共交通へ乗り換えやすく
多様な活動と平塚の魅力に出会える拠点

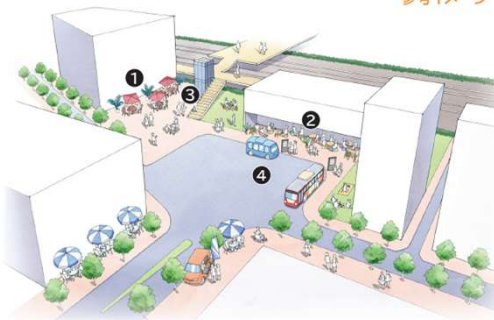
参考イメージ



■西口駅前広場

様々な公共交通へ乗り換えやすく
海を感じる交流拠点

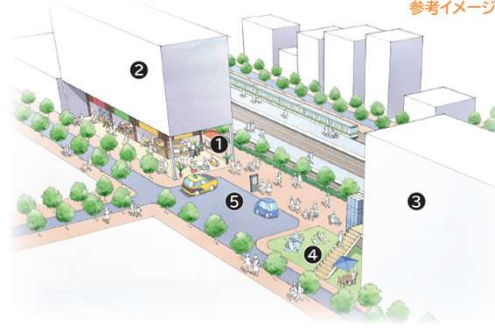
参考イメージ



■南口駅前広場

より快適に電車に乗り換えられる
平塚の活力を感じる新しい拠点

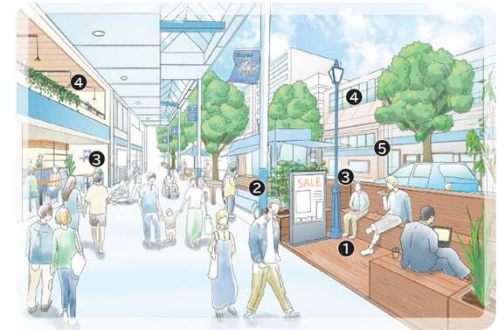
参考イメージ



■湘南スターモール

豊かで楽しい時間を過ごせる
みんなのメインストリート

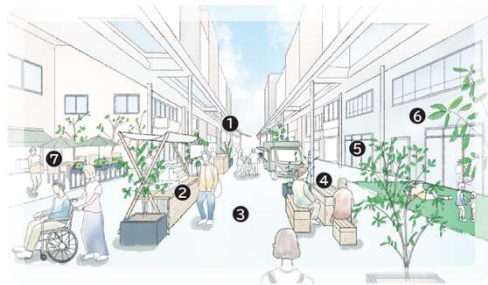
参考イメージ



■紅谷パールロード

店舗内と道路空間を一体的に活用し
飲食をメインテーマとするモール

参考イメージ



■大門・浜大門通り

平塚八幡宮の表参道として
にぎわいや落ち着きのあるストリート

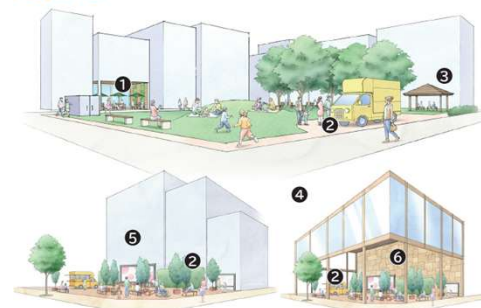
参考イメージ



■公園通り

プロスポーツとみどりを感じる
活力とやすらぎのあるストリート

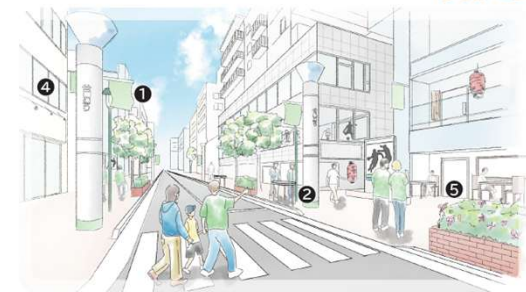
参考イメージ



■公園・広場

安全で快適に過ごし
集い、交流できる公園・広場

参考イメージ



平塚駅周辺地区将来構想

第5章 通り・エリアの将来イメージ

(1)湘南スターモール

湘南スターモールは、湘南ひらつか七夕まつりのメイン通りです。

商店会では、この通りのまちづくりのガイドライン「湘南スターモールでめざすまち」を作成し、その実現のためハッピープロジェクト(キッチンカーイベント)などの活動を進めています。

今後も七夕まつりのメイン通りを維持しつつ、周辺住民や来街者が回遊するように商店街の連続性や機能を維持していくとともに、歩道空間を活用した滞留機能をつくることで、ゆっくり滞在したくなる空間を目指す通りです。

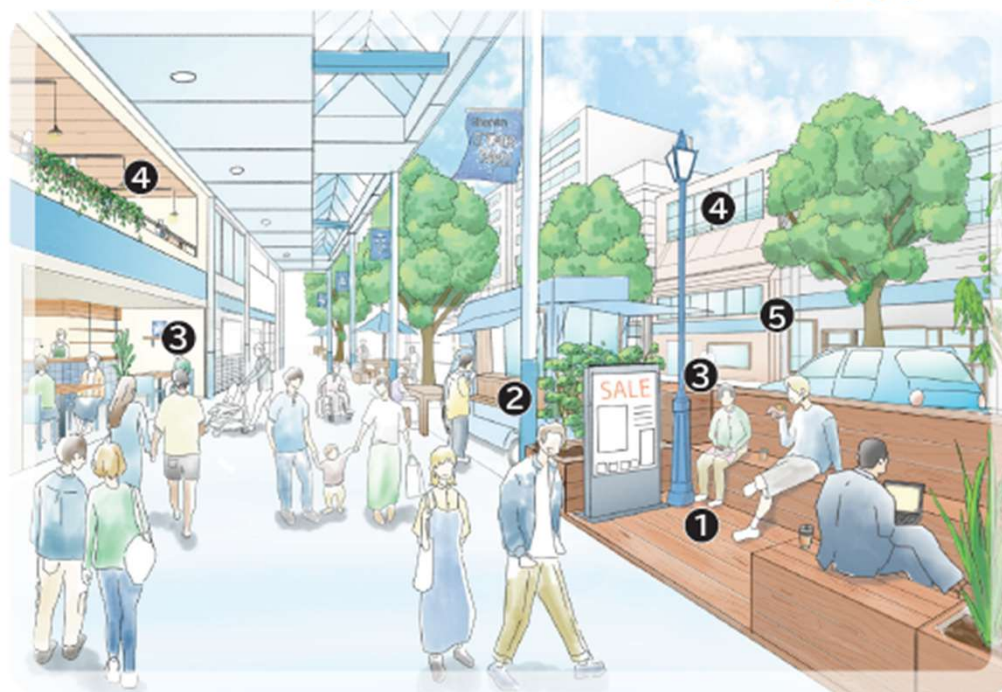
■通りの将来像

豊かで楽しい時間を過ごせる
みんなのメインストリート

■まちづくりの方向性

- 商店街としてのにぎわいが感じられる雰囲気と併せて、ゆっくり回遊することができる空間や機能をつくることに加え、湘南スターモールらしい景観の創出を目指します。
- 商店会や沿道店舗が店舗と公共空間(歩道状空間、広場などを含む)を一体的に活用できる仕組みを検討し日常とは違うにぎわいの創出などに活用できる空間を目指します。
- 商店街のつながりをつくるため、建物低層部は店舗や事務所など多機能な場とすることが考えられます。また、道路空間も店舗と連携した活用を図ることで飲食や滞留などを生む多機能な場を創出しベストなテナントミックスを目指します。
- 建物の更新と併せて多くの方が集まる機能の誘導を目指します。市有地を含む敷地などについては、有効に活用し都市機能の誘導を進めていく機会の創出を目指します。

参考イメージ

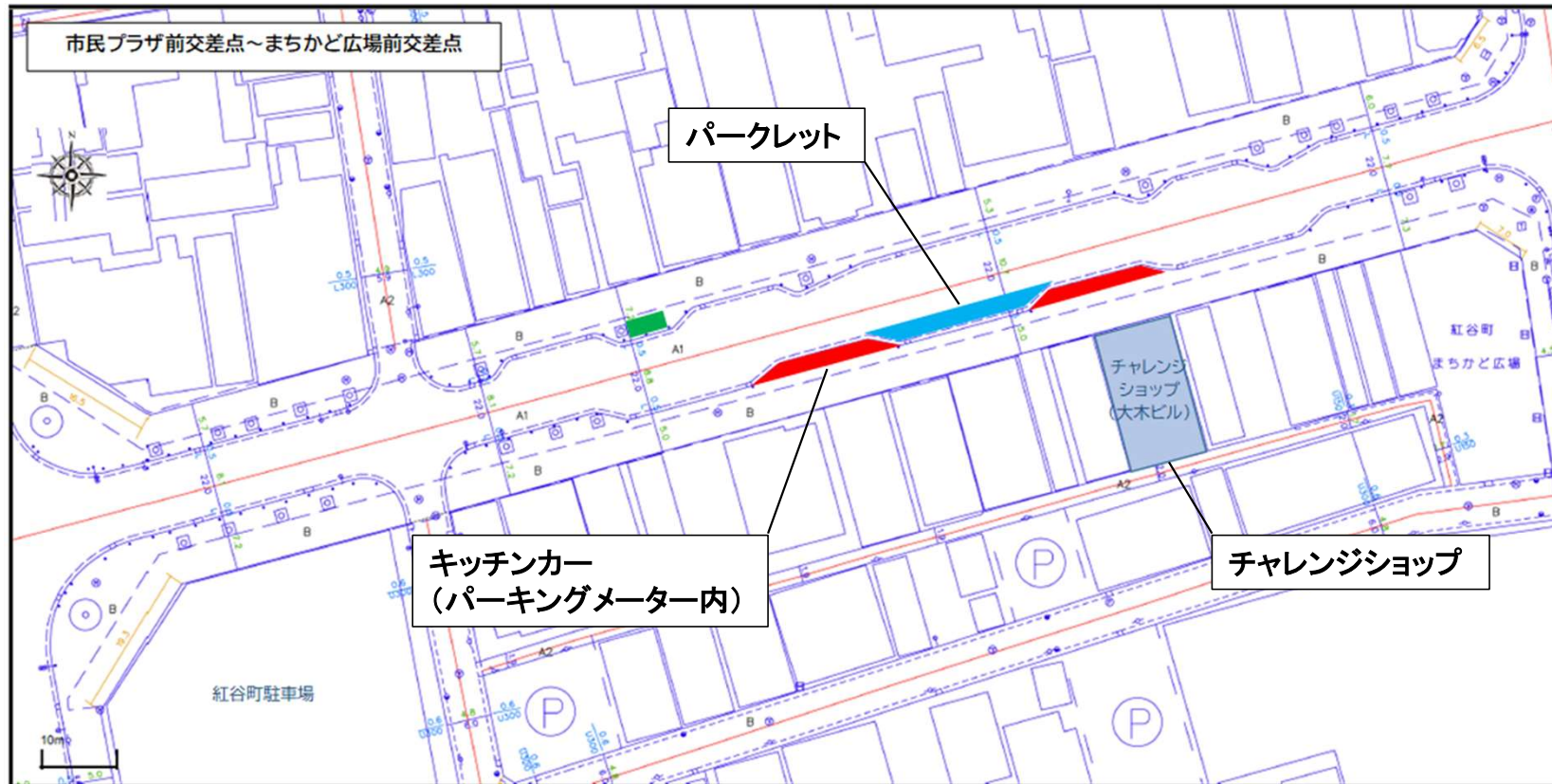


- ①湘南スターモールらしい景観を演出 方針1
- ②七夕まつりのための仕掛けを維持 方針1
- ③道路空間と連携したゆっくり滞留できる店舗などの出店を推奨 方針2
- ④建物低層部は多様な用途を誘導 方針3
- ⑤商店街の連続性を維持 方針4

平塚駅周辺地区将来構想

社会実験実施 「みんなのリビング in スタモ」

- ◆ 歩道上にパークレット（椅子やテーブル）を設置し、キッチンカーや近隣の店舗などと一体で活用することで、道路に必要な機能を検証するための社会実験を実施。



平塚駅周辺地区将来構想

第5章 通り・エリアの将来イメージ

(7)公園・広場

平塚駅周辺地区内の公園の多くは、開設から60年以上経過しています。本来の遊具、休養、防災などの機能のうち、現在では日常の人々のレクリエーションの空間としての機能がより求められるようになっていきます。

今後、再整備する際は、より安全で快適に活用しやすい空間づくりを目指します。

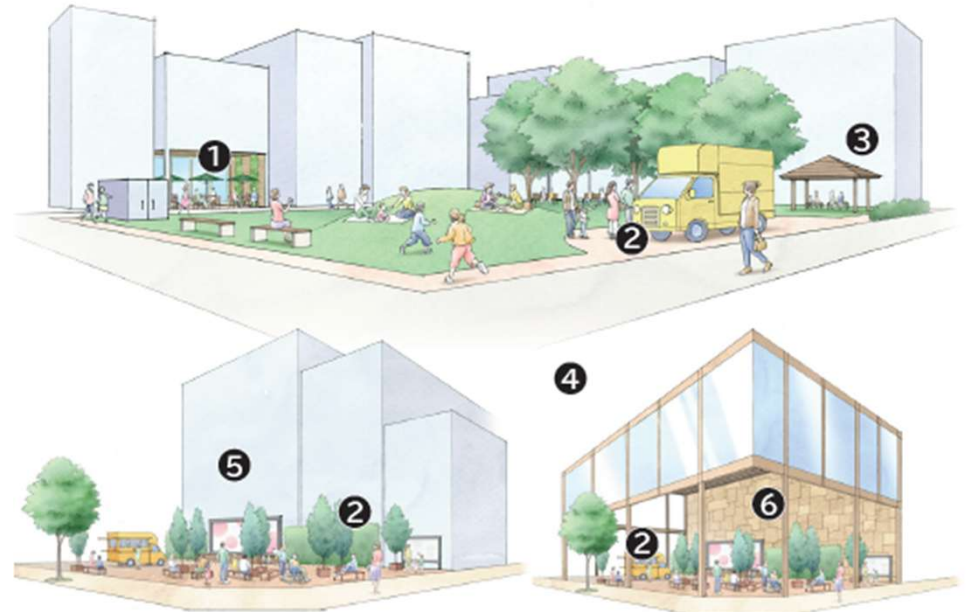
■公園・広場の将来像

安全で快適に過ごし
集い、交流できる公園・広場

■まちづくりの方向性

- 既存の公園・広場は、周辺の道路や建物を一体的に活用できるような空間の創出を目指すとともに、商店会や店舗側が柔軟に活用できる仕組みづくりを目指します。また、民間開発に伴う空地や暫定的な空き地などを活用していくことにより、交流・にぎわいを生む広場などの配置を目指します。
- 安全・快適に過ごすことができる場として、遊ぶ・休憩する以外にも、イベントの開催や交流が生まれるような機能を創出し、常に活用される公園・広場を目指します。また、災害時に活用できる場とするために、防災倉庫や災害時に活用できるマンホールトイレ、かまどベンチなどの設置も検討します。
- さらに、建物の更新に併せて公開空地を活用した広場を整備するなど、まちなかに広場の配置を誘導します。

参考イメージ

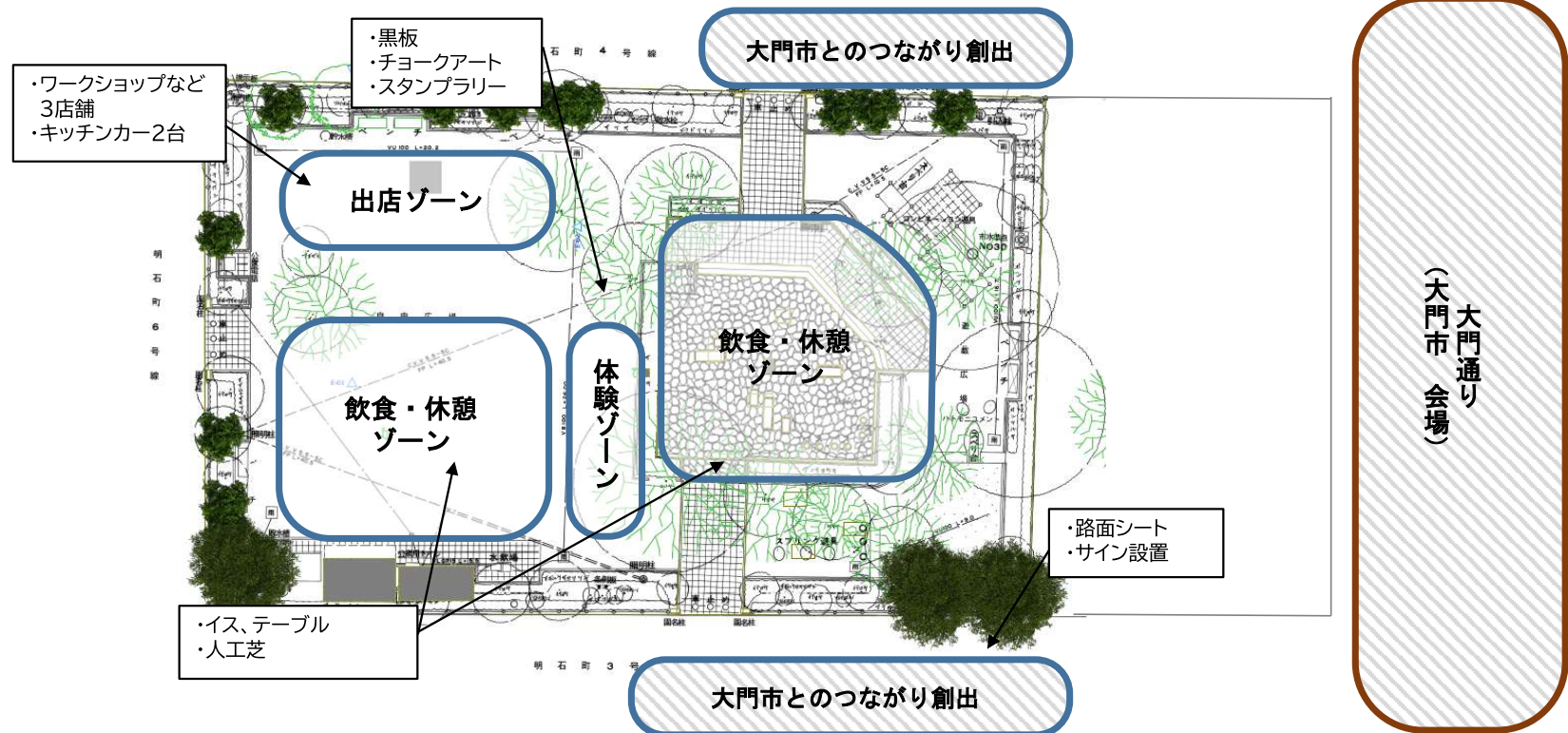


- ①周辺の店舗と連携した飲食スペースの創出 方針2
- ②マルシェなどのイベントに活用できる空間を確保 方針2
- ③地域のコミュニティが生まれる空間を整備 方針3
- ④イベント時に多様な使い方ができる空間や仕組みづくり 方針4
- ⑤建物の建替えに併せて広場を誘導 方針4
- ⑥天候に左右されない広場を整備 方針4

平塚駅周辺地区将来構想

社会実験実施 「みんなのリビング in はと公園」

- ◆ 大門通り(道路)で開催される市(マーケット)に併せて公園内にもキッチンカーや店舗などを設置するとともに飲食や休憩できるスペースを設け、公園に必要な機能を検証するための社会実験を実施。



平塚駅周辺地区将来構想

第5章 通り・エリアの将来イメージ

(8) 駅前広場

本市の玄関口である平塚駅には、北口、南口、西口があり、北口と南口には駅前広場が整備されています。

現状では、北口駅前広場はバス、タクシー、自家用車といった複数の交通手段の発着点となっており、飽和状態となっているため、複数の駅前広場の機能分担により、円滑な乗り換えや本市の玄関口としての機能の向上を目指します。

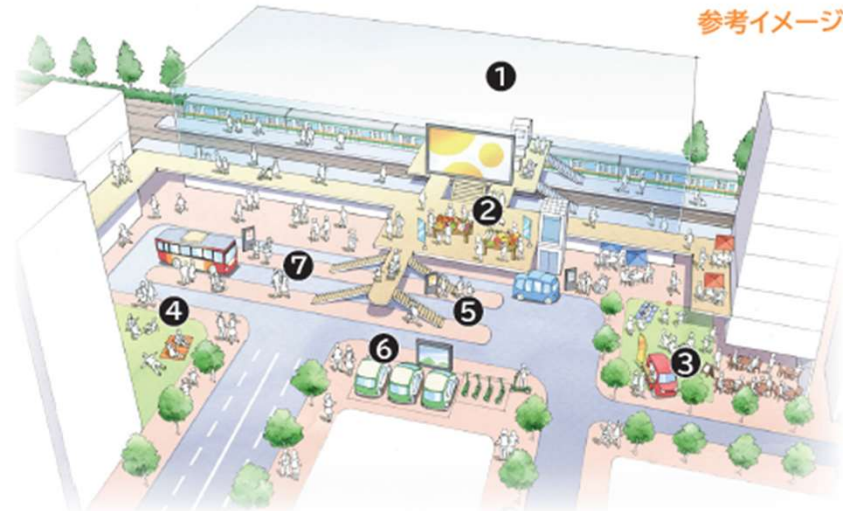
■まちづくりの方向性

- 駅前広場は、市外から訪れる方にとっての玄関口となるため本市の特徴やまちの活動が感じられ想像がふくらむ場の創出を目指します。
- 公共交通などの配置や地下道などの既存施設のあり方を検討し、様々な交通手段に乗り換えやすい動線とします。また、一層のバリアフリー化への配慮により安全に通行できる場とすることや経路をわかりやすくし、混雑緩和などを目標とします。
- 駅前広場の再整備や駅前広場に面した建物の建替えに併せて、広場などの設置や建物低層部をまちに開けた空間にすることで一体的に活用できるようにしていきます。
- 交通機能に加え、余暇活動や子育て支援活動、企業活動、医療などの多様な活動が生まれるよう、機能誘導や仕組みを検討し、本市の魅力に出会える場の創出を目指します。
- 駅前広場に面している建物は、駅前広場側に広場やカフェなどの滞留空間を設け市民の活動の場や公共交通の待ち時間を快適に過ごすことができるような場の創出を誘導していきます。また、地下道など既存施設のあり方を検討し駅や公共交通から周辺の建物へのアクセス性の向上を目指します。
- 市有地を含む敷地などについては、有効に活用し都市機能の誘導を進めていく機会の創出を目指します。
- 自動運転をはじめとした最新技術に対応した駅前広場を目指します。

■北口駅前広場の将来像

様々な公共交通へ乗り換えやすく
多様な活動と平塚の魅力に出会える拠点

参考イメージ



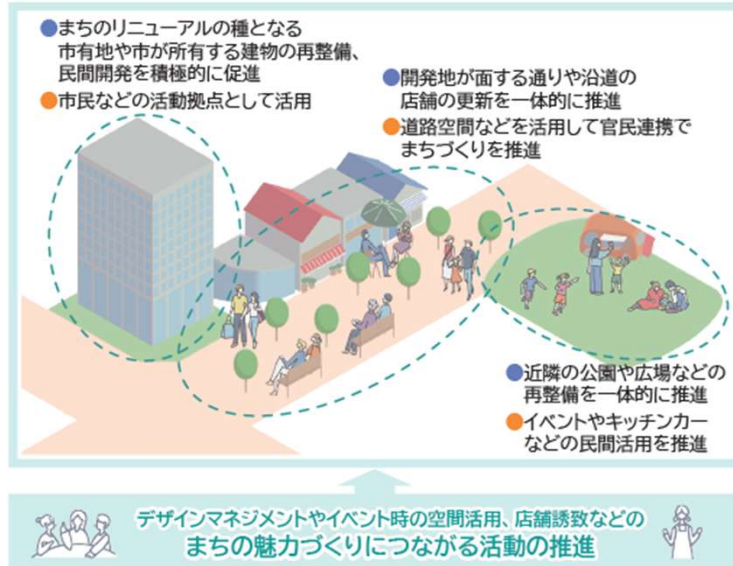
- ①平塚の魅力を感じられる機能の検討 方針1
- ②余暇活動など様々な活動を行える場づくり 方針2
- ③店舗と一体的な活用による滞留・交流空間の創出 方針2
- ④沿道店舗と公共空間の一体的な活用のための建物更新 方針4
- ⑤地下空間の有効活用を検討 方針6
- ⑥最新技術に対応した多様な交通に乗り換えられるハブ機能の整備 方針6
- ⑦自動運転など最新技術に対応したロータリー整備 方針7

平塚駅周辺地区将来構想

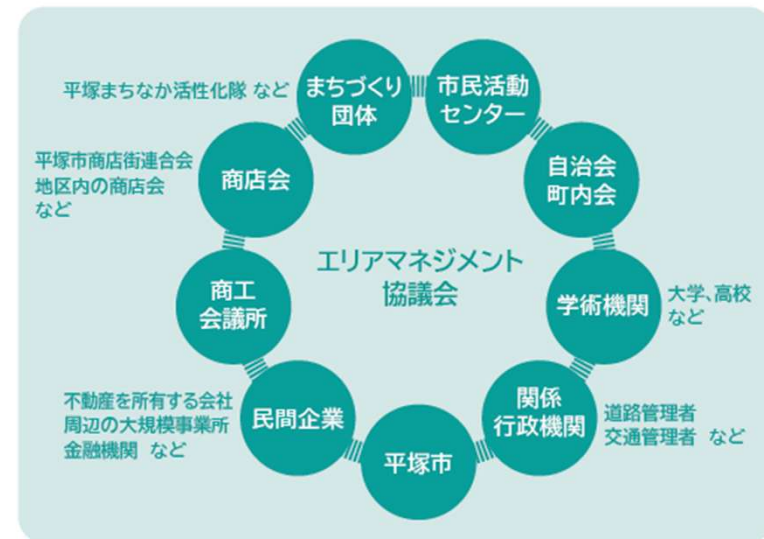
実現に向けて まちづくりの進め方

- ◆ まちのリニューアルを進めるために、民間事業者による再開発やまちのリニューアルなどを誘発するための種となるプロジェクトを積極的に推進
- ◆ 建物の建替え、道路や公園、駅前広場などの「ハード整備」と、デザインマネジメントやイベント時の空間活用、店舗誘致などの「ソフト取組み」を一体的なエリアで推進

■ ハード・ソフトの取組みによるまちのリニューアルのイメージ



■ まちづくりの体制イメージ



平塚駅周辺地区将来構想

将来構想の実現に向けた「3つの柱」と方向性



POINT!

構想実現の屋台骨となる
3つの柱の取組みを一体的に捉え、
連携させながら進めていく

平塚駅周辺地区将来構想の実現

